

三陸産生牡蠣・ホタテの香港・タイへの販路開拓について  
(輸出拡大モデル事業により支援)

- 復興庁では、輸出に関する先進的な取組を支援し、水産品・水産加工品を中心とした被災地産品の輸出の拡大に取り組んでいます。
- このたび、復興庁の支援による海外展示商談会への出展等を契機として、株式会社雄勝そだての住人が生牡蠣をタイ及び香港に、株式会社鮮冷がホタテをタイに輸出することとなりました。
- 今回の輸出は、三陸の水産関係者が連携し、販路開拓に取り組んだ成果であり、三陸産水産物の認知度向上や、ブランドイメージの形成に寄与するものと期待しています。

(詳細は別紙をご参照ください。)

【輸出概要】

商 品：雄勝産シングルシード岩牡蠣「himeco」(株式会社雄勝そだての住人)、  
宮城県産ホタテ 「鮮冷ほたて貝柱」(株式会社鮮冷)

輸出先：タイ・香港の水産品輸入商社

輸出量：himeco700 個、鮮冷ほたて貝柱 1t



「himeco」



「鮮冷ほたて貝柱」

問い合わせ先：復興庁 水産担当  
電話：03-6328-0264  
参事官補佐 片石  
主査 中村

(別紙)

## 「三陸の若手リーダーの連携によるカキ・ワカメの輸出事業」 (フィッシャーメンズ・リーグ輸出部会)

### 【取組概要】

三陸地域の水産業者が連携し、共通のコンセプト&ブランドを掲げながら、産地間連携による同一品目の輸出に取り組むとともに、輸出する商品とあわせて共通の地域ブランドを伝えていくことで、被災地域の水産品の輸出拡大を図っております。

復興庁では、輸出拡大モデル事業により、海外商談やテストマーケティング、共通品質基準の設定等を支援しており、今回の輸出は、香港・バンコクにおいて、生食用牡蠣・ワカメを中心とした展示会への出展と商談の実施、現地での営業活動等を行った結果、実現しました。

※ 参考 (フィッシャーメンズ・リーグからの紹介)

#### 【シングルシード岩牡蠣「himeco」について】

雄勝の天然岩牡蠣から採苗したシングルシードの岩牡蠣。生後一年半で4~5回籠を入れ替え、温通しなどを行い、丁寧に育てられました。処女牡蠣、その名も「ヒメコ」。日本国内には流通させず、海外輸出専用として生育販売されています。小さな岩牡蠣から想像もできない濃厚な甘みが広がります。雑味のないクリアでクリーミーな味わいが特徴的な岩牡蠣。ワインなどのアペタイザーとして、小さなフォークを使い一口で召し上がることができるよう、あえて大きく育てずに出荷されています。小さいのに、身の入りのしっかりとした岩牡蠣になるようこだわって育てられています。

#### 【フィッシャーメンズ・リーグについて】

○ 人口減少、高齢化、魚食文化の縮小といった状況で発生した東日本大震災により、東北の水産業は未曾有の危機に直面しました。このとき、東北のフィッシャーメンたちが立ち上がり、生産者自身が主体となってブランド化や海外展開、また魚食文化の発展に向けた事業等を行うフィッシャーメンズ・リーグ(事務局:一般社団法人東の食の会、一般社団法人RCF)が、2016年3月に結成されました。

